

上越市立直江津小学校学校だより

令和 6 年度 第 6 号 通算 第 300 号

ジェームス・ダン

(ジェームス・ダンは、直江津小学校校歌の作曲者です) 令和 6 年 12 月 20 日



<繊細かつ美しい日本語>

先日自宅で観ていたグルメ番組のことです。人気の海鮮丼が紹介される 1 場面です。食べた料理について味や盛り付けなどについて即座にコメントする、いわゆる食レポはゲスト出演していた若い芸人、A さんです。店員さんが持ってきたその海鮮丼を見て、最初に出てきた A さんの言葉が「やばーいっ」。一口食べたときの感想も「やばーいっ」。A さんはこの言葉を何度も連呼します。最後のコメントが「この海鮮丼やばすぎる！」でした。

ドンブリいっぱいになり盛り付けられたお刺身の種類の多さ。ドンブリからあふれんばかりです。イクラ、ウニ、のど黒といった高級で人気のあるネタもしっかり盛られています。その盛られ方もとても豪華に見えるほどです。口にした時のおいしさもきっと想像以上のものだったのでしょう。新鮮なお刺身特有の魚の甘さ、旨さも口いっぱいに広がったことと思います。ところが、A さんから発せられる言葉は「やばーいっ」に終始しました。番組を見ていた私は、ここに違和感を覚えずにはいられませんでした。

感激、感動を表す言葉、日本語はたくさんあるはずです。海鮮丼を見たときには、「美味しそう」「きれいにたくさん盛られている」「食べるのがもったいない」「まるで〇〇みたい」「こんな海鮮丼見たことないくらい豪華」とか。口にした時には「美味しい」「ほっぺたが落ちそう」「脂がのっている」「うまみが濃い」「あまい」「口の中が〇〇でいっぱいになって幸せ」「飲み込みたくないくらい」「ずっと食べていたい」「舌ざわりが良い」「格別な味だ」「今まで食べとこがないくらい」など……。他にもっとあるかもしれませんね、

「やばい」は本来、危ない、不都合な状況が予想される様を表す言葉であるはずです。しかし今では、「すごい」「最高」の意味として用いられるだけでなく、特に若い人たちには意味なく発する言葉として用いられているようになっていきます。

そもそも私たちが使う日本語は、繊細かつ美しい表現がたくさんあるはずです。一つの概念、状況を表すにも、その時々状況や使う人の気持ち、また相手との関係によって言葉を使い分けることができます。そして日本人は、言葉を適切に使い分ける豊かな感性をもち得ているはずですし、私たちは子どもに育みたいと考えます。また、どの世代にも身に付けてほしいと思います。

「やばい」以外にも「むかつく」「かわいい」など、一つの言葉で間に合わせようとしている流行語を完全に否定しようとは思いませんが、流行語しか使えなくなって言葉がどんどん貧弱になっていくことを危惧します。もしも目の前に出されたご馳走を見て子どもが「やばーいっ」と発した時、私たち大人は「そうだね、見たことないくらいおいしそうなお料理が並んでいるね」「とってもきれいに盛り付けられているね」「この〇〇は口入れたらほっぺたが落ちそうだよ」と、適切な言葉で置き換えて教えることが肝要だと思います。

年末年始は、美しい日本語にふれる貴重な機会です。

皆様、良いお年をお迎えください。



<2学期 思い出の1枚>

【1松】 おもちちゃんあずきくん、
ありがとう、ずっとずっと大好きだよ



【2松】 わぁ!まっ白できれい!
大きな大根をしゅうかく!



【3松】 電車に乗って高田の町へ



【4松】 きらめき☆ふるさとナオエツ
うみのあるまち



【5松】 シャークカレー試食会



【6松】 自給自足生活 5 日目の食事
～早く給食が食べたい～



<1月の主な行事予定>

7 日 (火) 第 3 学期始業式 3 限後下校
8 日 (水) クラブ活動
9 日 (木) あったか遊び
1 3 日 (月) 祝日 成人の日
1 4 日 (火) たのスポタイム
1 5 日 (水) 委員会活動
1 6 日 (木) 中学年スケート教室

2 2 日 (水) 避難訓練
2 3 日 (木) 低学年雪遊び
2 8 日 (火) たのスポタイム
2 9 日 (水) クラブ活動最終日



*おかげさまで、学校だよりも 300 号となりました。これからもよろしくお願いいたします。